

令和3（2021）年度シラバス【音楽Ⅰ】

68新潟県立高田南城高等学校（通信制）

単位数	必履修・選択	レポート数	出席義務時数	テスト回数
2	選択必履修	6	8	2

教科書	学習書・他教材
音楽Ⅰ 改訂版 Tutti（教育出版）	なし

学習目標
1. 歌唱、器楽、創作の音楽の諸活動を通して、表現能力を高める。 2. 鑑賞を通して、音楽に対する豊かな感性と愛好心を養う。

学習計画		
学習項目	学習内容	試験範囲
1. 歌唱（1） 2. 歌唱（2） 3. 器楽（1）	<ul style="list-style-type: none"> ・校歌 ・楽典の基礎の確認 ・基本的な発声方法を身につける。 ・歌曲の鑑賞 ・リコーダー二重奏 ・「アニメ・メドレー」 	前期試験 (レポート1～3回)
4. 音楽史鑑賞（1） 5. 器楽（2）創作 6. 音楽史鑑賞（2）	<ul style="list-style-type: none"> ・ルネサンス、バロック、古典派の楽曲の鑑賞を通して各時代の特徴を感じとる。 ・和楽器にふれる ・日本音階を使って旋律を作る。 ・ロマン派、20世紀の音楽、日本の音楽、ポピュラー音楽など幅広く鑑賞し、音楽への興味を深める。 	後期試験 (実技テスト)

評価規準と評価方法			
評価は、次の観点から行います。			
①音楽への関心・意欲・態度	②音楽表現の創意工夫	③音楽表現の技能	④鑑賞の能力
音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとしている。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするための技術を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取り組み（授業態度、学習活動の参加状況など） ・レポートの取り組み状況、前期のテスト、後期の実技テスト などから総合的に評価します。			

授業の進め方、課題・提出物など
・レポートは計画的に提出してください。わからないことは遠慮せず質問してください。

担当者からのメッセージ
・CDやDVDで鑑賞の時間をとり、音楽への興味が広がるきっかけになるような、授業をしていきたいと思ひます。